

サンケイ化学 農薬登録情報

サカイ スミチオン乳剤

登録番号：農林水産省登録 第 5052 号（登録会社：サンケイ化学㈱）

有効成分：MEP・・・50.0%

毒性：普通物

販売エリア：全国

適用拡大登録取得のお知らせ

弊社登録商品「サカイ スミチオン乳剤」が平成 22 年 10 月 27 日付けで下記のように負の登録変更になりました。

■変更内容及び変更理由

【 変更内容（今回の使用制限変更にかかる部分のみ） 】

- ・ 作物名「稲」の使用法「散布」「空中散布」「無人ヘリコプターによる散布」の本剤の使用回数を「3 回以内」から「2 回以内」に変更する。（理研スミチオン乳剤（第 15350 号）は非該当）
- ・ 作物名「稲」の使用法「空中散布」、希釈倍数「30 倍」の使用量を「3～4L/10a」から「3L/10a」に変更する。（理研スミチオン乳剤（第 15350 号）は非該当）
- ・ 作物名「稲」及び「稲（箱育苗）」の MEP を含む農薬の総使用回数を「4 回以内（種もみへの処理は 1 回以内、育苗箱散布は 1 回以内、本田では 3 回以内）」から「3 回以内（種もみへの処理は 1 回以内、育苗箱散布は 1 回以内、本田では 2 回以内）」に変更する。（理研スミチオン乳剤（第 15350 号）は非該当）
- ・ 作物名「麦類（小麦を除く）」を「大麦」、「麦類（小麦、大麦を除く）」に変更する。
- ・ 作物名「麦類（小麦、大麦を除く）」、「小麦」、「大麦」の希釈倍数「30 倍」の使用量を「3～4L」から「3L」に変更する。
- ・ 作物名「麦類（小麦、大麦を除く）」の使用時期を「収穫 7 日前まで」から「収穫 14 日前まで」に変更する。
- ・ 作物名「えんどうまめ」の使用時期を「収穫 21 日前まで」から「収穫 30 日前まで」に変更する。
- ・ 作物名「ねぎ」の使用時期を「収穫 14 日前まで」から「収穫 21 日前まで」に変更する。
- ・ 作物名「トマト」の使用時期を「収穫 7 日前まで」から「収穫開始 14 日前まで」に変更する。
- ・ 作物名「かんきつ」を「みかん」、「なつみかん」に変更する。
- ・ 作物名「なつみかん」の使用時期を「収穫 14 日前まで」から「収穫 21 日前まで」に変更する。
- ・ 作物名「なつみかん」の使用法「無人ヘリコプターによる散布」を削除する。
- ・ 作物名「なつみかん」の本剤の使用回数を「5 回以内」から「3 回以内」に、MEP を含む農薬の総使用回数を「5 回以内」から「3 回以内（樹幹処理は 1 回以内）」に変更する。
- ・ 作物名「おうとう」の使用時期を「収穫 14 日前まで」から「収穫 21 日前まで」に変更する。

- 作物名「いちご（露地栽培）」の使用時期を「収穫7日前まで」から「収穫21日前まで」に変更する。
- 作物名「大粒種ぶどう」の使用時期を「収穫21日前まで」から「収穫30日前まで」に変更する。
- 作物名「かき」の使用時期を「収穫30日前まで」から「収穫45日前まで」に変更する。
- 作物名「パイナップル」を削除する。（サンケイスマチオン乳剤（第12257号）および一農スマチオン乳剤（第12333号）のみ該当）

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

【変更前】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	MEPを含む農薬の総使用回数				
稲	ニコメテウ第1世代	1000～2000倍	—	収穫21日前まで	3回以内	散布	4回以内 (種もみへの処理は1回以内、育苗箱散布は1回以内、本田では3回以内)				
	ニコメテウ第2世代 サニコメテウ第3世代	800～1000倍									
	ヒメビウカ、カメシ類 イネツムシ イネシガレセンチュウ イネトモイシ アブラムシ類	1000倍									
	イネモクグリハエ	1000～2000倍									
	イネヒモクグリハエ	2500倍									
	フタオビコヤカ	2000～4000倍									
	ニコメテウ、カメシ類	300倍						25L/10a			
	イネシガレセンチュウ	1000倍						—	は種前	1回	6～72時間浸漬 専用の種子消毒機を用いて乾燥種粒重量の3%の量の希釈液を種粒に吹付け処理又は塗沫処理
		100倍									育苗箱 (60×30×3cm、使用土壌約5L) 1箱当たり500mLを散布する。
稲 (箱育苗)	イネシガレセンチュウ	1000倍	—	硬化期～移植前日	1回	育苗箱 (60×30×3cm、使用土壌約5L) 1箱当たり500mLを散布する。	4回以内 (種もみへの処理は1回以内、育苗箱散布は1回以内、本田では3回以内)				
稲	ニコメテウ、ヒメビウカ カメシ類、イネモクグリハエ イネヒモクグリハエ フタオビコヤカ、イネツムシ	30倍	3～4 L/10a	収穫21日前まで	3回以内	空中散布	1回				
	ニコメテウ、カメシ類	8倍	800 mL/10a			無人ヘリコプターによる散布					
麦類 (小麦を除く)	アブラムシ類 アヲトウ ムギキモクグリハエ	1000倍	—	収穫7日前まで	1回	散布	1回				
	ムギアカタマハエ ヒメビウカ	30倍	3～4 L/10a			空中散布					
	ヒメビウカ	8倍	800 mL/10a			無人ヘリコプターによる散布					
	アブラムシ類	250倍	25L/10a			散布					
小麦	アブラムシ類、アヲトウ ムギキモクグリハエ	1000倍	—	収穫7日前まで	1回	散布	1回				
	ムギアカタマハエ ヒメビウカ	30倍	3～4 L/10a			空中散布					
	ヒメビウカ	8倍	800 mL/10a			無人ヘリコプターによる散布					
	アブラムシ類	8倍	800 mL/10a			無人ヘリコプターによる散布					

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用 液 量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	MEP を含む 農薬の 総使用回数
かき	ハマキムシ類、カキノハナムシカ カキノカ、フジコナカイラムシ オウコナカイラムシ、カメムシ類 イラカ類、アメリカシロヒトリ ミカ類若齢幼虫	1000倍	—	収穫30日 前まで	3回以内	散布	3回以内
かんきつ	アブラムシ類	1000～2000倍		収穫14日 前まで	5回以内		5回以内
	ハマキムシ類、サンホセカイラムシ アザミウマ類、カメムシ類 カネタタキ、ミカンツボミタマハエ ケンキスイ類、コアオハナムグリ フラーバラウシ、ミカンキジラミ コナカイラムシ類	1000倍	5L /10a	収穫14日 前まで	5回以内	無人ヘリコプター による散布	
大粒種ぶどう	アブラムシ類、フタテンヒメコバ イブトウスカシハ、ブトウトリハ	1000～2000倍	—	収穫21日 前まで	2回以内	散布	4回以内 (収穫終了後から 萌芽までは 2回以内、 萌芽後は 2回以内)
	ハマキムシ類、ブトウトラミキリ キンケチブトウシ成虫	1000倍					
	クロナカイラムシ	1500倍					
おうとう	アブラムシ類	1000～2000倍		収穫14日 前まで			
	ハマキムシ類、ナシクソハ イアメリカシロヒトリ	1000倍					
いちご (露地栽培)	アブラムシ類	2000倍		収穫7日 前まで			
ねぎ		1000～2000倍		収穫14日 前まで			
	アザミウマ類	700～1000倍					
トマト	アザミウマ類	1000倍	収穫7日 前まで				
	アブラムシ類 オニジュウヤホシテントウ	2000倍					
えんどうまめ	シロイチモシ、マダラメイカ タイズサヤマハエ カメムシ類、マヒメヤムシカ	1000倍	収穫21日 前まで	4回以内			
	アブラムシ類	1000～2000倍					
	マシクイカ	1000～1500倍					

住化スミチオン乳剤（第4962号）の適用【変更前】を示す

【 変更後 】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	MEPを含む農薬の総使用回数
稲	ニカメイチュウ第1世代	1000～2000倍	60～150 L/10a	収穫21日前 まで	2回以内	散布	3回以内(種 もみへの処 理は1回以 内、育苗箱 散布は1回 以内、本田 では2回以 内)
	ニカメイチュウ第2世代 サシカメイチュウ第3世代	800～1000倍					
	ヒメトビウンカ カメシ類 イネツトムシ イネシカレセンチュウ イネトコロイシ アブラムシ類	1000倍					
	イネハモグリバエ	1000～2000倍					
	イネヒメハモグリバエ	2500倍					
	フタオビコヤカ	2000～4000倍					
	ニカメイチュウ カメシ類	300倍					
	イネシカレセンチュウ	1000倍	—	は種前	1回	6～72時間 浸漬	
		100倍				専用の種子 消毒機を用 いて乾燥種 籾重量の3% の量の希釈 液を種籾に 吹付け処理 又は塗沫処 理	
	稲 (箱育苗)	イネシカレセンチュウ	1000倍		硬化期～ 移植前日		
稲	ニカメイチュウ ヒメトビウンカ カメシ類 イネハモグリバエ イネヒメハモグリバエ フタオビコヤカ イネツトムシ	30倍	3L/10a	収穫21日前 まで	2回以内	空中散布	
	ニカメイチュウ カメシ類	8倍	800mL/10a			無人ヘリコプタ ーによる散 布	

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	MEPを含む農薬の総使用回数	
麦類(小麦、大麦を除く)	アブラムシ類 アヲトウ ムギキモグリハエ	1000倍	60～150 L/10a	収穫14日前まで	1回	散布	1回	
	ムギアカタマハエ ヒメヒウンカ	30倍	3L/10a			空中散布		
	ヒメヒウンカ	8倍	800mL/10a			無人ヘリコプターによる散布		
アブラムシ類	250倍			25L/10a		散布		
小麦	アブラムシ類 アヲトウ ムギキモグリハエ	1000倍	60～150 L/10a	収穫7日前まで		空中散布		
	ムギアカタマハエ ヒメヒウンカ	30倍	3L/10a			散布		
	ヒメヒウンカ	8倍	800mL/10a		空中散布			
	アブラムシ類	1000倍	60～150 L/10a		無人ヘリコプターによる散布			
大麦	ムギアカタマハエ ヒメヒウンカ	30倍	3L/10a	収穫7日前まで	散布			
	ヒメヒウンカ	8倍	800mL/10a		空中散布			
	アブラムシ類				1000倍	60～150 L/10a	無人ヘリコプターによる散布	
	アブラムシ類 アヲトウ ムギキモグリハエ	30倍	3L/10a		散布			
えんどうまめ	シロイモシマダラメイガ ダイズサヤタマハエ カメシ類 マヒメサヤムシガ	1000倍	100～300 L/10a	収穫30日前まで	4回以内	散布	4回以内	
	アブラムシ類	1000～2000倍						
	マシクイガ	1000～1500倍						
ねぎ	アブラムシ類	1000～2000倍	200～700 L/10a	収穫21日前まで		2回以内	散布	2回以内
	アザミウマ類	700～1000倍						
	ネギコガ	1000倍						
トマト	アブラムシ類 オオニジュウヤホシテントウ	2000倍		収穫開始 14日前まで				
大粒種 ぶどう	アブラムシ類 フタテヒメヨコバイ ブドウスカシバ ブドウトリバ	1000～2000倍	200～700 L/10a	収穫30日前まで	2回以内		散布	4回以内(収穫終了後から萌芽までは2回以内、萌芽後は2回以内)
	ハマキムシ類 ブドウトラミキリ キンケチブトゾウムシ成虫	1000倍						
	クワコカイガラムシ	1500倍						

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	MEPを含む農薬の総使用回数
いちご (露地栽培)	アブラムシ類	2000 倍	100～300 L/10a	収穫 21 日前 まで	2 回以内	散布	2 回以内
みかん	ハマキムシ類 ナンホーゼカイガラムシ アザミウマ類 カメムシ類 カネタキ ミカンツボミタマバエ ケシキスイ類 コアオハナムグリ フラハラゾウムシ ミカンキンラムシ コナカイガラムシ類	1000 倍	200～700 L/10a	収穫 14 日前 まで	5 回以内		5 回以内(樹 幹処理は 1 回以内)
	ケシキスイ類 コアオハナムグリ アザミウマ類	10 倍	5L/10a		無人ヘリコプ ターによる 散布		
なつみかん	アブラムシ類	1000～2000 倍	200～700 L/10a	収穫 21 日前 まで	3 回以内	3 回以内(樹 幹処理は 1 回以内)	
	ハマキムシ類 ナンホーゼカイガラムシ アザミウマ類 カメムシ類 カネタキ ミカンツボミタマバエ ケシキスイ類 コアオハナムグリ フラハラゾウムシ ミカンキンラムシ コナカイガラムシ類	1000 倍					
おうとう	アブラムシ類	1000～2000 倍					
かき	ハマキムシ類 カキハタムシガ カキホリガ フジコナカイガラムシ オウワタコナカイガラムシ カメムシ類 イラガ類 アメリカシロヒトリ ミカガ類若齢幼虫	1000 倍		収穫 45 日前 まで	3 回以内	3 回以内(樹 幹処理は 2 回以内)	

住化スミチオン乳剤（第 4962 号）の適用【変更後】を示す

【 変更理由 】

登録内容の登録維持に必要な試験成績整備に経費と時間を要するため。